

# 外国にルーツを持つ子ども達への教育の必要性を大学全体で認識する

講演会

令和5年11月29日(水)

15:30～17:00 (受付15:00～)

\* 本部棟・第五会議室にて



## 『外国人児童生徒の教育 ～横浜市の日本語支援事業の 現状と課題～』

講師

横溝 亮 氏

- ・横浜市教育委員会事務局
- ・文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー

愛知県は、文部科学省が実施する「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」において、日本語指導が必要な児童生徒数が全国最多です。この「日本語指導が必要な児童生徒」の定義は「日本語で日常会話が十分にできない児童生徒、もしくは、日常会話ができていても学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒を指す」としており、日常会話だけではなく、学年相当の教科学習活動に参加するための指導も必要とされています。

教科学習活動への参加には、担任や教科担任の力が最も重要となります。教員養成大学全体として、外国にルーツを持つ子ども達が学校生活を営み、学習に取り組めるような教育が実施できるよう、本FD講演会を通じて教育の重要性についての認識を高めます。



- \* 開催方法：対面方式
- \* 参加対象：教職員、本学学生
- \* 申込方法：事前申し込み不要
- \* 問合せ：日本語教育支援センター  
外国人児童生徒支援リソースルーム  
(TEL) 0566-26-2219  
(mail) gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp

